

内町地区 地震・津波避難支援マップ

平成26年11月

裏面もご覧下さい。

津波避難ビル

津波避難ビルとは、津波の恐れがなく、周囲の安全が確認されるまでの数時間に限って避難する場所で、長期の避難生活を送る場所（避難所）ではありません。避難所を兼ねている内町小学校と幸町会館には一定量の飲料水・食料の備蓄がありますが、他の津波避難ビルには備蓄はありません。（裏面補足①）

『徳島市指定津波避難ビル』は、①鉄筋コンクリート構造、②新耐震設計基準適合、③24時間利用可能な要件を全て満たし、徳島市が所有者と協定を結んだ建物です。夜間・休日に施錠される建物には「かぎ保管庫」が付けられています。

『内町まちづくり協議会津波避難ビル』は要件①②を満たす建物で、内町まちづくり協議会が所有者の協力を得た建物です。利用可能時間・場所はビル名称の下に示されています。

津波避難ビルや緊急避難場所の名称の（ ）内の数値は、想定されている津波の浸水深に対して、安全な高さを有するフロアの避難スペースの収容人数です。

収容力の大きな内町小学校、城東高等学校、および幸町会館（内町コミセン）には、建物倒壊や液状化などが発生する地震災害時において、徒歩20分以内で到達できる範囲の目安（半径500mの円）を付けています。

徳島市東沖洲のマリンピア東端では、避難に影響が開始するのは地震発生後41分です。内町地区の浸水深は最大で3m程度と想定されています。



世界救世教
(707)
09:00~20:00
ただし1/1,2,4,5は
09:00~17:00
2F全室, 3Fホール,
参拝室, 会議室

徳島電気ビル別館
(253)
月~金 08:30~18:30
土日祝 09:30~18:00
【休館日: 12/29~1/3】
3階コンテナプラザホール, 控室,
廊下の一部
裏面補足②

**アミコビル
ペデデッキ**
(2,075)
屋外

齋藤醫院
(452)
月~土 08:30-18:00
2F廊下, 待合室, 3F全室

元木ビル
(156)
月~金 08:30-18:00
2F~4Fホール, 廊下, バルコニー

とくぎんトモニプラザ
[徳島県青少年センター]
(1,123)
09:00-21:00
【休館日: 第2,4水曜日, 12/29~1/3】
2F~6Fのホール, 廊下, 階段

かぎ保管庫
津波避難ビル入口の鍵が保管されています。震度5強（城東高等学校は震度5弱）以上の揺れを感じると保管庫の扉のロックは解除されて鍵を取り出せるようになっていきます。
裏面補足⑧

かぎ保管庫がある建物①

城東高等学校（4階 体育館南東入口付近）裏面補足③

徳島大学日亜会館（北側東入口付近）

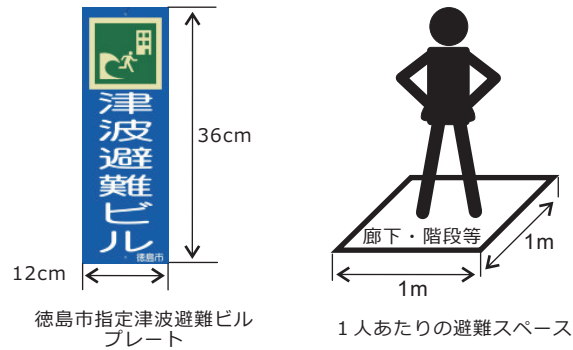
- ### 記号の説明
- 徳島市指定津波避難ビル (収容人数)
 - 徳島市指定緊急避難場所 (収容人数)
 - 内町まちづくり協議会津波避難ビル (収容人数) 利用可能時間帯・場所
 - 保管庫・備蓄庫 (資機材, 食料, 水)
 - かぎ保管庫
 - 主な建物進入路 (夜間・休日も使用可)
 - 橋梁名 [耐震]
 - 1.2 標高 (m)



内町地区 地震・津波避難支援マップ（補足説明）

～知っておきたい「こんなこと」や「あんなこと」～

①津波避難ビル



『徳島市指定津波避難ビル』には左上のようなプレートが貼られています。『内町まちづくり協議会津波避難ビル』にはプレートは貼られていません。

ビル内の避難スペースとして使える場所は廊下や階段など共有スペースや許可された部屋です。住居空間や事務所、倉庫などプライベートな空間には勝手に立ち入らないで下さい。

収容人数はあくまで目安です。徳島市では避難スペース1m²あたりの収容人数を1人として算出しています。

市立の小中高等学校やコミュニティセンターは地域の避難拠点でもあり、食料・飲料水、毛布などがある程度備蓄されていますが、それ以外の津波避難ビルには備蓄はありません。

避難時には水・食料・常備薬など必要なものを持参して下さい。

津波が収まった後、自宅が被害を受けたりして避難生活が必要になった場合には最寄りの避難所を利用して下さい。

②四国電力 徳島電気ビル別館の防水扉



津波が到達すると予想される場合、浸水を防ぐために建物周りの全ての防水扉が閉鎖（高さ約60cm）されて通行できなくなります。防水扉が閉鎖された後の避難は、扉脇（右写真の手前）の植え込みを乗り越えて下さい。段差が小さくて比較的容易です。

津波避難ビルまで歩いてみましょう

地震災害時における避難歩行速度は通常の半分程度になると言われています。その理由は建物や電柱等の倒壊などによる道路閉塞のほか、交通渋滞や要援護者（小さな子供、お年寄り、障がい者、病人、けが人）の介助などです。災害発生時に慌てないためにも、ご家族やご近所の方と一緒に津波避難ビルまで『ゆっくり』歩いて避難する順路や津波避難ビルの様子や、津波避難ビルまでの所要時間を確認しておきましょう。昼間や夜間など、様々な状況に対応できるように「複数の避難場所」を用意しておくことが重要です。

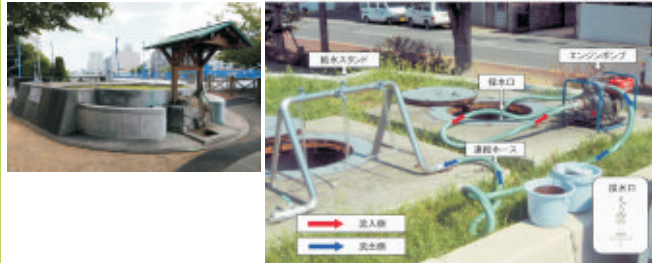
③城東高等学校



城東高等学校の津波避難ビル（体育館）の入口は中庭「交流広場」側にあります。正門から敷地内に入ります（①）。次に本館（北棟）と生徒棟（南棟）の間に入って（②）進むと（③）、中庭に出ます。正面奥に体育館入口に繋がる外階段が見えますので、向かって右側から外階段に向かいます（④）。4階まで上がると体育館入口です（⑤）。入口左側にある柱の南面に「かぎ保管庫」が設置されています（マップ表面参照）。

城東高等学校には、災害時優先電話、発電機、簡易トイレ等が設置・保管されています。

④飲用水兼用耐震性貯水槽



仁心橋北詰にあります。人が生命を維持するためには1人1日最低3リットルの飲用水が必要です。この貯水槽は新鮮な飲用水が流れる配水管の一部を太くしたもので、1万人が5日間必要とする量（150m³）を常時確保しています。

地震が発生して配水管が壊れた場合、自動的に遮断弁が作動し、貯水槽内の水が確保されます。この水は飲用水の他、消火用水として利用できます。給水作業は水道局職員が行います。

『内町地区地震・津波避難支援マップ』は、南海トラフ地震で発生すると予想されている津波に対して迅速な避難ができるように、「内町まちづくり協議会」、「徳島大学環境防災研究センター」、および「徳島市」が協力して作成しました。このマップは避難マニュアルではありません。常日頃から「こんなとき」「あんなとき」の避難行動を各人が考えられるように必要な情報を集めて整理したものです。

⑤四国ガス ガス貯蔵タンク



出来島町にあるガス貯蔵タンクの基礎部分は地表面下27mにある強固な支持地盤まで杭を打ち込み、大地震にも十分耐えられる構造になっています。

万が一、タンクが破損してガス漏れが生じて、安全に大気中に放出する放散口を備えていますので爆発の危険性はありません（引火の可能性はありません）。

災害時に隣接する道路を封鎖するなど措置は取られません。24時間体制で従業員が監視しているので何か問題が発生しても直ぐに対応可能になっています。

⑥城山本丸跡



城山本丸跡は『徳島市指定緊急避難場所』です。緊急避難場所とは「津波の危険から緊急的に避難するための高台や場所」を指します。

本丸跡は安全な場所ですが、津波避難ビルと異なり、屋根や壁がありませんので風雨をしのぐことが困難です。

本丸跡までの主要な道は3本あり、南側の2本の道は階段ですが、北側の道は頂上直前までスロープです。いずれも地震による斜面崩落や階段の損壊の恐れがありますので通行時には十分注意することが必要です。

⑦ケンチョピア

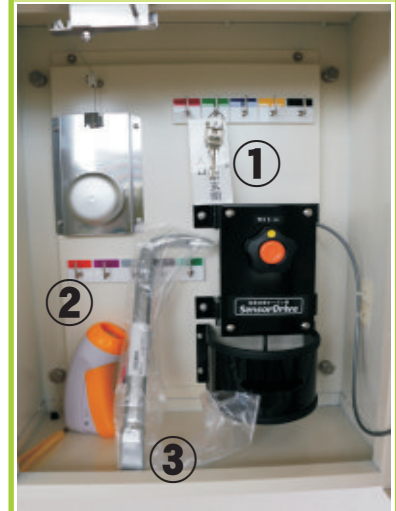


ケンチョピア（県庁前の小型船舶用泊地）では津波襲来で発生する可能性がある船舶流出防止策として以下のような対策を実施しています。

① 静穏な水域で背後に防潮堤がある場所を泊地に指定。② 泊地利用の許可制。③ 橋梁に被害を及ぼす可能性のある船舶、流出の恐れのある船舶、および沈下の恐れのある浮桟橋の撤去。④ 流出防止設備として係留環（100基）の設置

引用資料：第3回ケンチョピア津波対策検討委員会資料（平成25年3月）

⑧かぎ保管庫の収容物



かぎ保管庫には、①建物入口の鍵、②懐中電灯、③ボールのほか、建物内部の平面図が入っています。